

平成 30 年度 静岡福祉文化を考える会 活動計画

活動テーマ：「子どもたちを地域ぐるみで育む地域コミュニティの構築に向けて」

本会は、平成 30 年度、23 年目の活動に入る。改めて、「福祉を文化にする、静岡発 福祉文化の創造」（豊かに暮らせる身近な地域づくりを日々努力する）とは何かを検証する活動の原点に戻り、平成 27 年度に創作実現した「若者発 ご近所福祉かるた」を最大限活用して、県内各地域・各種研修会等で「ワークショップ方式」により、意見交換や討論を交えた多様な学習方法を提案し、世代を越えて地域の課題解決に向けた「地域総合型学習」を実践する。

本会の活動基調である「専門性と市民性を融合した活動」「広く地域課題を共有した地域総合型活動」「新たな地域課題解決に向けた活動」をもとに、情報の共有、広報啓発、人的交流、プロセスを重視し、人々が支え合って暮らし合う生活圏域における「地域課題」を掘り起こし、課題提起をする取り組みを、「生活会議」と置き換え、実践活動に取り組む。

具体的には、本会は、平成 17 年度、18 年度の 2 年間にわたり、子どもたちを取り巻く地域環境について理論と実践を融合し議論をしてきた。10 年以上経った今日、あらためて、家庭・家族機能のあり方を問いつつ、子どもたちを取り巻く身近な生活圏域の地域環境について、いかにして、コミュニティ組織の中で、大人社会は子どもたちと向き合い、地域ぐるみで子どもたちを育む地域づくりに取り組むことが出来るかを「協働」をもとに身近な生活圏域の問題として取り組む。

平成 30 年度は…

- (1) これまでの活動実績をもとに、組織体制を維持し、着実に「福祉文化の創造」に向けた実践活動に取り組む。
＊ 代表 (1), 副代表 (2), 事務局長 (1), 事務局次長 (1), 会計 (1), 監事 (1), 委員 (4), 計 12 名
- (2) 引き続き、若者の参加を呼び掛けていく。特に、発展的活動として 3 年目に入る「若者発 “居場所”あり方研究会」(常葉大学同好会)とは、日常的な連携を維持し、これまで本会が課題提起をしてきた「若者の地域参加」「居場所」をより具体的に実践し、「子ども支援」を通じて「居場所」に関する研究を深めていくための連携を図る。
- (3) 市民主体のコミュニティ構築の必要性を、各活動項目に随所に強調し、地域における市民主体の「地域総合型学習」の取り組みを深める。
- (4) 福祉コミュニティ再構築に向けた県民の意識と実態把握事業
—地域ぐるみで子どもたちを育む環境づくりへの提言—を課題とする。これまでの実践活動から、福祉コミュニティの再構築のキーワードを「子どもを育む地域づくり」とし「家庭・家族機能」を再認識し、「真の子どもの居場所」を問う。
- (5) 自主的な「共創社会研究会」を設置し、子どもの取り巻く環境について広く意見を求める。

1. 平成 30 年度全体会（総会／公開型研修会）の開催

- 開催日時：平成 30 年 5 月 27 日（日）13:30～16:00
- 開催会場：静岡市清水区追分「寄って亭」
- 研修テーマ：「福祉文化と子どもを育む地域づくりを考える」
- プログラム：
 - (1) 報告①「福祉文化実践活動の 23 年目の展開—子どもと福祉文化—」
 - (2) 報告②「居場所 その意識と実態調査」結果をさらに「子どもを育む地域社会」につなぐ
 - (3) 円卓トーク「地域が抱えている子どもの居場所とは —これから地域づくりをめざす—」

2. 委員会の開催

- (1) 実務型委員会構成をもとに、[代表] [副代表] [事務局長・次長・スタッフ] [会計] [監事] [委員] [会員] が一丸となって、活動の進捗状況管理と検証に努める。
- (2) 地域ぐるみで子どもを育む—真の子どもの居場所を探るー」をテーマに、ご近所福祉かるたの有効活用の研究協議と共に、「若者発“居場所”あり方研究会」と協働で取り組む。
 - 第191回 04月21日(土) 13:30 静岡市清水区追分「寄ってつ亭」
 - 第192回 05月27日(日) 10:30 静岡市清水区追分「寄ってつ亭」
 - 第193回 08月25日(土) 13:30 静岡市清水区追分「寄ってつ亭」
 - 第194回 10月13日(土) 13:30 静岡市清水区追分「寄ってつ亭」
 - 第195回 01月26日(土) 10:30 静岡市清水区追分「寄ってつ亭」
 - 第196回 03月23日(土) 13:30 静岡市清水区追分「寄ってつ亭」

3. 「自主的共創社会研究会」の設置と運営（定例委員会との協議）

(1) 開催日時

- 第1回 10月13日 静岡市清水区追分「寄ってつ亭」
- 第2回 01月26日 静岡市清水区追分「寄ってつ亭」
- 第3回 03月23日 静岡市清水区追分「寄ってつ亭」

(2) 構 成

世代・領域を超えた構成で、市民主体の論議
本会会員（5名）、県内実践者（5名） 10名程度

(3) 協議内容

- ① 研究会の位置づけと方向性、地域の現状、課題、調査実施
- ② 調査実施要項、調査個票、調査実施、調査結果考察
- ③ 実践地区検証、公開型研修会結果考察
- ④ 事業全般考察（提言）

4. 実践活動として、「若者発 ご近所福祉かるた」の有効活用による「ご近所福祉の検証」

7年間の県委託事業「一人でも安心して暮らせる地域づくり事業」から浮き彫りになった“ご近所福祉の再構築”を若者の視点から論議を深め、提言された読み札を精査し、「若者発“居場所”あり方研究会」の全面的な支援のもとに「かるた」の創作に取り組み、平成27年度に「若者発 ご近所福祉かるた」を100セット作成し、4年目を迎えた。また平成28年度に作成した「若者発 ご近所福祉かるた 拡大版」2セットを有効活用して3年目。

引き続き、「若者発“居場所”あり方研究会」が「子どもを育む地域社会」をもとに、積極的に地域で「かるた」の活用に取り組むことを期待し、様々な活動状況を本会に情報提供していただき、「ご近所福祉」「地域ぐるみの居場所」そして「地域の子どもを地域ぐるみで育む」を検証する。

また、「かるた」を幼児から大人まで、身近な地域の実践活動の場や行事の中で、「地域総合型学習」として楽しみながら活用し、子どもを育む安心して暮らし合う生活圏域づくりをめざす。

会員をはじめ、関係機関・団体・個人、各研究会会員、施設・グループ・サロン等に配布・設置した100セットの「かるた」の活用状況を、「若者発“居場所”あり方研究会」と共に「子どもを育む」を検証し、課題を整理し、地域社会の問題提起をしていく。

5. 「若者発“居場所”あり方研究会」との連動と協働の呼び掛けと実践

常葉大学同好会として、自主的に発展した「若者発“居場所”あり方研究会」との連携を維持し、協働による福祉文化実践活動（本会主催の各種研修会・事業への参加呼び掛け）ができるように、情報を共有（定例委員会への出席呼びかけ）し、「ご近所福祉」「地域ぐるみの居場所」「地域で子どもを育む」に関わる研究協議の場をその都度設定できるように努力する。

6. 現場視察研修

地域における子どもを対象とした実践活動を、県内3地域で訪問検証し、これから地域社会づくりへの提言につなげる。

7. コミュニティ組織との連携

コミュニティ組織との連携に努め、「子どもを育む地域」について広く住民の意見を把握する。

- 住民主体の啓発学習の取り組みのプロセス
- 住民主体の居場所の取り組みの検証
- 住民の意見集約

8. 啓発学習活動

「生活圏域の地域での福祉文化論議（生活会議）」の取り組みを「公開型研修会」「公開型学習会」として開催する。

(1) 公開型学習会の開催

「定例委員会」（年5回）を「公開型学習会」と位置づけ、誰でも自由に参加できることを呼びかけ、市民・会員相互の情報交換の場及び日常的な実践活動につなげる。

(2) 公開型研修会の開催

できる限り、小地域の生活圏域で地域の課題解決に向けた話し合いの場を創り、「生活圏域の地域での福祉文化論議（生活会議）」の取り組みとして、県民が参加できる「公開型研修会」を開催する。

- 第1回 5月27日（日）13:30 静岡市清水区「寄ってつ亭」
研修テーマ：「福祉文化と子どもを育む地域づくりを考える」
 - ① 報告①「福祉文化実践活動の23年目の展開—子どもと福祉文化—」
 - ② 報告②「居場所 その意識と実態調査」結果をさらに「子どもを育む地域社会」につなぐ
 - ③ 円卓トーク「地域が抱えている子どもの居場所とは —これからの地域づくりをめざす—」
- 第2回 8月25日（土）13:30 静岡市清水区「寄ってつ亭」
研修テーマ：「ささえあう地域ぐるみの“子どもの居場所”を考える」
 - ① 基調報告
 - ② 実践活動に学ぶ
 - ③ ワークショップ
- 第3回 1月26日（土）13:30 静岡市清水区「寄ってつ亭」
研修テーマ：「子どもたちが安心して暮らせる地域づくりとは」
 - ① 報告「地域ぐるみで子どもを育むには」
 - ② ワークショップ「子どもたちが安心して暮らせる地域づくりを考える」

(3) 「第 17 回静岡県福祉文化研究セミナー」の開催

- 日 時：10月 13日（土）13:30～16:30
- 会 場：静岡市清水区追分「寄ってつ亭」
- テーマ：「静岡発 福祉文化の創造と子どもも支援を考える」
 - ① 基調報告 その 1「福祉文化研究セミナー17年を探る」
 - ② 基調報告 その 2「子どもの居場所 その意識と実態を探る」
 - ③ ワークショップ「ほっとする子どもを育む地域を創る」

9. 調査研究活動

(1) テーマ：『子どもを育む地域づくり その意識と実態調査』の実施

(2) ねらい：

「静岡福祉文化を考える会」は、この 22 年間「静岡発 福祉文化の創造」を目指した実践活動の大きな柱立ての一つに、その時代の地域社会を取り巻く様々な福祉課題を「調査テーマ」にした「調査研究活動」に取り組んでいる。また、その分析結果を、県内各方面で、研修会や本会の公開型研修会などで公表し、世代を超えた「地域総合型学習」を通じて問題提起をし、県民一人ひとりの意識改革に努めてきた。

これまでの調査研究活動を振り返ると、

- 平成 09 年度 ①「共働きに関する調査」
- 平成 10 年度 ②「私たちにとって、地域とは何か－その 1－意識と事態調査」
- 平成 11 年度 ③「私たちにとって、家族とは何か調査」
- 平成 12 年度 ④「父親に関する調査」
- 平成 13 年度 ⑤「ボランティア活動実践者意識調査」
- 平成 14 年度 ⑥「大人を対象とした生きがいと就労に関する意識調査」
- 平成 15 年度 ⑦「青少年の生きがいに関する調査」
- 平成 16 年度 ⑧「地域とは何か－その 2－意識と事態調査」
- 平成 17 年度 ⑨「子どもと社会環境に関する調査」（継続調査）
- 平成 18 年度 ⑩「子どもと社会環境に関する調査」（総括）
- 平成 19 年度 ⑪「地域活動と団塊の世代の役割に関する意識調査」
- 平成 20 年度 ⑫「長寿者の生きがい、その意識と実態に関する調査」（静岡県共同募金会助成事業）
⑬「日常生活と福祉情報に関する意識調査」（静岡県委託事業）
- 平成 21 年度 ⑭「長寿社会に関する県民意識と実態調査」（静岡県委託事業）
- 平成 22 年度 ⑮「いまこそ地域社会に福祉文化を拓く 生活圏域における支え合いとはなにか本音に迫る調査」（静岡県委託事業）
- 平成 23 年度 ⑯「地域と私の居場所その意識と実態調査」（静岡県委託事業）
- 平成 24 年度 ⑰「家族ってなに その意識と実態調査」（静岡県委託事業）
- 平成 25 年度 ⑱「長寿者とつながる ホッとするご近所づくりその意識と実態調査」
（静岡県委託事業）
- 平成 26 年度 ⑲「豊かに暮らせる地域づくりその意識と実態調査」（静岡県委託事業）
- 平成 27 年度 ⑳「若者の地域参加その意識と実態調査」
- 平成 28 年度 ㉑「ご近所福祉 その意識と実態調査」
- 平成 29 年度 ㉒「居場所ってなに？ その意識と実態調査」

と、「22 のテーマ」の調査研究活動に取り組んできた。通算 23 回目となる今年度は、これまでの展開を継承しつつ、「子どもを育む地域づくり その意識と実態調査」に取り組む。

- (3) 調査項目は、(1) 基本属性、(2) 住民の生活・家族状況、(3) 地域と家庭の関わりの意識、(4) 地域と家庭の関わりの実態、(5) 地域と家庭・家族を取り巻く望ましい生活環境、(6) 地域社会の意識と家庭の関わりの実態、(7) 提言（自由意見）の7項目とする。細部は「自主的共創社会研究会」で具体化する。
- (4) 調査の展開は、(1) 調査実施期間（10月～11月）、(2) 入力期間（10月～12月）、(3) 分析・考察（12月～2月）、(4) 公表（3月）を予定。
- (5) 協力：若者発“居場所”あり方研究会、自主的共創社会研究会
- (6) 対象：静岡県内の10代以上の県民対象（年代・世代・領域を考慮）
- (7) 回収目標：約500名程度
- (8) 調査依頼／配布方法：
 - (1) 会員（現在24名）、(2) 若者発“居場所”あり方研究会、(3) 関係団体、(4) 企業

10. 広報・啓発活動

- (1) 「機関誌発行計画」に基づく、『Our Life』の発行
 - ① 年6回 A4版 4ページ 上質紙印刷 200部発行
 - ② 各号共通記事：「コラム」「事務局日誌拝見」「編集後記」
 - 第118号（07/05） 『22年振り返り、23年への挑戦』
 - 第119号（10/25） 『子どもを地域で育む実践活動』
 - 第120号（12/25） 『子どもの居場所議論を深める』
 - 第121号（02/15） 『23年の道程を総括』
 - ③ 今年度取り組む「子どもを地域で育てる」をテーマとした課題提起、地域・団体・グループとの連携の状況、各地区から寄せられた実践活動の取り組みなどを紹介する。
- (2) マスコミ、関係団体への情報提供

11. 関係・団体との連携

- (1) 「若者発 ご近所福祉かるた」及び「拡大かるた」設置団体等との日常的連携（施設、NPO法人、Vグループ）
- (2) 「若者発“居場所”あり方研究会」との協働
- (3) あしたの日本を創る協会との連携
- (4) 日本福祉文化学会との情報交換
- (5) 関連大学・専門学校への情報提供
- (6) 静岡市ボランティア団体連絡協議会との連絡調整
- (7) ふじのくに未来財団との連携